

新幹線が駅周辺の真実を暴く

前号に安全対策について3項目と、施設内の改善について4項目を紹介しました。ひき続き残りの項目を紹介します

施設内の改善案

- ⑤ 娯楽談話室は日差しが直接入り、夏場は暑い。窓にはカーテンもブラインドもありません。網戸がないので窓が開けられません。
- ⑥ 図書室は別な観点からの有効活用がのぞましい。
- ⑦ 娯楽談話室のカフェ

扉の開閉操作がしにくい。
⑧ スリッパが少ししかありません。入浴の時や

対市交渉が市当局動かす

6月議会では対市交渉が前提にあつての植田議員の質問で、早速動きが見られました。
娯楽談話室のカーテンは、議会直前に、早々に設置されました。また、「手すりや、ウッドデッキからの出口、ステーションの設備や、音響設備

は設置する方向で考えていきます。冷水器や、要望される備品は、アンケート調査をして必要と判断できるものは設置します。入浴時間の延長については、前向きに検討させていただきます。改善時期については、簡易な改善は直ちに行います。予算

は、玄関でスリッパに履き替えていて、このほうがよかったです。
⑨ 飲料の自販機がありますが、気軽に冷水を飲む機器が必要です。
⑩ 流し場に給湯設備が

が伴うものについては、次年度の予算編成に向けて検討します」との答弁でした。

「なぜ、このような事態になったのか？」と再質問をすると、「意見を前もって聞くのが足りなかった。大変厳しい御指摘、柔軟に真摯に受け止めます」との答弁がありました。

みなさん、請願駅をご存知ですか。
I氏が日本国憲法違反の場所からやっていた「市民の要求によってできる、新しい駅舎」を作ることです。
新幹線ができて、一般

「請願ではなくて、東口を作してほしいという声で、東武鉄道は「請願駅」という名前を付けたのです。
駅舎は二十億円、付属として駅前広場と、駅前通路を十三億として、総

億円」の寄付を要求する。利益を求める東武鉄道のやり方です。市議会議員たちは、そこまでのやり方を知らずに承認。きちんと説明しなかった市の責任も大です。日高とオンスマンの小山昭作氏

野田市も同じことをやっています。千葉真は、五つの駅を「請願駅」として、東武鉄道はエスケーターがエスカレーターだけで、駅舎を作っているのです。商法でいったら、もつければ市民に還元

「請願駅」の不思議

日高 真智子

すべての駅にやろうとしていたのです。私鉄をよ。「運河駅」といい、大宮駅へ向かう東武野田線。もつできてから百年目をむかえる駅です。コンクリートもはるばる。トイシは寄付金で市が作りました。その折、十二名の

額二十九億円を要求してきました。
近隣の住民は、静かな駅舎を選んでいるのに、なぜ大金を出すのか。自由通路も東口ができて、駅舎は東武鉄道に寄付する型。約十億円分です。勝手に「請願駅」駅舎十

が「変」と思い、市の責任を裁判所に訴えました。その間、7年。結審が出て市側が勝ちました。弁護士を付け、市民の請願で作ったという理論です。何を根拠にといいたるところです。東武鉄道の穴さとのせられた流山市。

させろといいたいです。駐輪場は税金がかかるからと用地も貸さない東武のやり方。…五年内に作られた駅舎を不思議な表現物として、じっくり見て下さい。裁判官の不思議、東武鉄道と市としての不思議。市税の無駄使いの典型です。
平成25年6月21日

二二五読者からの投稿

必要です。
⑪ 広間の照明のスイッチが一つしかなく12個の電灯が全部つきまします。省エネになりません。
⑫ ステージに着板を吊るすボタンがなく出演者を照らすライトもありません。横の出演者控え室や収納場所がありません。

⑬ マイクはありますが、スピーカーやアンプなど放送設備がありません。
⑭ 広間の椅子が高くて座りにくい。備品が高齢者向きではないようです。
⑮ オープンしたばかりなのに間仕切りの壁紙に空気が入って膨らんでいます。

⑯ 入浴時間は午前10時から午後2時30分までで3時には浴場から出なければなりません。もう少し入浴時間を長くできませんか。
今回は項目だけの紹介ですが、これらの指摘にそれぞれ市当局の対応がありました。

あすなる山柳

- 民食し
- 景気回復とこの国
- 支持せぬ党
- 景気期待のねじれ票
- 濁水と洪水、原発

三本の矢

ベトナム旅行記3

古くは中国による支配、1940年代のフランス、日本による支配、そしてアメリカの軍事介入。ベトナムの歴史は一言でいえるは「外国からの支配と侵略戦争に対する抵抗の歴史」といえるでしょう。日本の敗戦直後の1945年9月2日、ベトナム民主共和国としての「独立宣言」のなかでホー

とベトナムの人々に被害を与えたものだけではなく、全世界からのベトナム支援運動の資料も展示されていることだ。米軍の北爆を糾弾する当時の「しんぶん赤旗」やアメリカはベトナムから手を引け」と書いたゼッケンを胸につけて通勤した日本人の写真、また、中村梧郎氏の枯葉剤被害の写事も展示してありまし

くに大きな慰霊碑が建てていました。
【鉄の三角地帯】ホーチミン市の北西70㎞、サイゴン川に面して「鉄の三角地帯」といわれる激戦地があります。
米軍の猛爆に耐えられず総延長2500㎞におよぶ地下トンネルの中に作られた戦司令部、病院などがありました。現在はその一部が森の中に保存されていてトンネルの中に入

らない！」私たちは強く思いました。
私自身、若い頃に遠くベトナムの人々へ思いを寄せて、ベトナム反戦の集会やデモに参加しました。沖縄の基地から爆撃機が飛び立ち日本は戦争に手を貸してしました。また、沖縄で枯葉剤の容器が地中から発見されたということが先月報道されています。沖縄を再び戦争の島にするな！

外国支配と侵略戦争に抵抗の歴史

「独立と自由ほど尊いものはない」という有名な言葉を残しています。
私たちはベトナム戦跡めぐりとして3ヶ所を訪ねました。
【戦争証跡博物館】ホーチミン市にあり、ベトナムで使用された米軍などの兵器、残虐な拷問装置、資料、写真などが展示してあります。膨大な数量の展示で見学に半日以上かかります。展示の特徴は、兵器な

た。
【ルン・サック基地跡】ホーチミン市の南50㎞、メコン河口の広大なマングローフの森の中にあります。枯葉剤作戦で壊滅的な被害を受けましたが現在は4分の3ほど森は再生されました。細い網目のような水路の奥にある解放戦線の拠点基地跡です。解放戦線側の犠牲者も多く1200人中800人が戦死しました。近い

この思いを今いっそう強くしています。(おわり) 保坂茂夫

てみました。かがみこんでやると通れる狭さです。外へ出ると突然、近くで銃声が聞こえました。驚いてガイドさんに聞くと「誰でも一発1ドルで実弾射撃ができる」とのこと。こ

この思いを今いっそう強くしています。(おわり) 保坂茂夫



戦争証跡博物館内 腕が無い帰還米兵の子供の写真。中村梧郎氏(左側)撮影